

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0170502371), 法人名 (株式会社 香島コンサルタント), 事業所名 (グループホーム コマクサの家), 所在地 (札幌市豊平区月寒西1条2丁目1番35号), 自己評価作成日 (令和4年1月11日), 評価結果市町村受理日 (令和4年4月25日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で、その方らしく安心して毎日過ごすことができるよう支援しています。家族や大切な人と離れて過ごす入居者様の不安や孤立感を少しでも軽減できるように温かい支援をホームが一丸となって目指しています。入居者の気持ちに寄り添った対応ができるよう意識して業務に取り組んでいます。また、コロナ禍の現在は外出が難しい為季節ごとの行事やレクリエーションを考え施設の中でも楽しめるよう企画しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0170502371-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和4年1月24日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、豊平区の月寒公園に程近く、地下鉄からも基幹国道からも徒歩圏内で、隣接してスーパーが並ぶ等、生活の利便性に富んだ住宅地に立地している。開設は平成15年で、ホーム用に新設された3階建ての建物の各階に1ユニットが入り、3ユニット27名の高齢者が生活を共にしている。母体法人は、市内と近郊を含め4か所でグループホームを運営しており、定例で管理者会議が行われ、スケールメリットを活かした各事業所間の情報伝達や、内部研修の充実が図られている。職員は理念の実現を目標とし、利用者が出来るだけ自力で、今までと変わらない生活が出来よう見守り、不安や孤立感を感じることをしないよう、温かい支援に努めている。また、家族には訪問出来ない事業所の様子を電話で説明する他、お便りで写真と共に日常生活や健康面を事細かに伝えている。コロナ禍において制限が多い中、感染防止に留意しながら、外出、気分転換の機会作りにも努める管理者、事業所としての取り組みを評価したい。今後も更なる尽力が期待される。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and evaluations.

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | コロナ前までは毎朝朝礼で理念を唱和し、全員で共有していた | 事業所理念をリビングや玄関に掲示し、日常的に共有している。主に申し送りや会議の場で、理念への理解を深めており、「温かい支援」という基本姿勢の実践に努めている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 現在は受け入れできていないが町内会行事への参加、近隣の幼稚園との交流を通し地域との繋がりを大切にしている | 現在は相互に往来を自粛しているが、通例では地域行事への積極的な参加や、幼稚園からの訪問の受け入れ、災害時の協力体制等で、関係の継続に努めている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 現在はできていないが運営推進会議、広報誌等を通じて理解を深めている | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 現在が実施が難しくなっているが広報誌等を通じてご家族や包括センターへ発信している | 通例では、行政や各委員等の参加を得ながら、運営推進会議を2ヶ月毎に定期開催している。書面での開催となった現在も議事録を送付し、意見を聞き取ることで、運営に活かしている。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 行政担当者と電話等で相談しアドバイスを受けている | 市担当者や包括支援センターからは、定例の運営推進会議での運営状況報告の他、メール・電話での相談や随時指導、アドバイスを受け、運営に活かしている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束廃止委員会を開催し、拘束になるような支援や考えが出ないようにカンファレンスを開き支援に繋げている。玄関は施錠しているが外出希望者には都度説明させていただき了解を得ている | 身体拘束廃止委員会を設置し、定例で開催、内容について全職員に周知している。全利用者の現状の確認と不適切なケアについて、具体的な事例を職員間で協議し、改善している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止法の抜粋をプリントし掲示、職員全員が虐待防止について意識できるよう努めている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 研修はできていないが資料等と配布して全員に周知している | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約前から質問しやすい人間関係を築き十分な説明をしている。時間をかけ説明し理解が得られるよう努めている | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 制限をしながら面会の機会を設けている。写真や動画を交え近況をお伝えし、ご家族の要望も確認している | 通例では、主に来訪時に家族の意見、要望を聞き取り、運営に反映している。現在はホーム便りの他、電話、窓越しでの面会、外部評価時の家族アンケート等、多様な情報交換の場を設定し、意見を得ている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 会議を定期的にも実施し意見を出す場を設けている。リーダーや管理者へ相談しやすい環境作りをしている | 主に定例の会議の場で、職員との意見交換や提案を受け、運営に活かしている。今後はさらに全職員からの意見の吸い上げを目指しており、発言しやすい環境構築に取り組んでいる。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 経験年数に関わらず適正に合わせ役職につけたり等資質向上を図っている。自己評価の用紙にて自信を評価し、管理者の評価とを合わせ給与水準を検討している | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | リーダーを主体として支援や力量を把握しトレーニングしている。課題については管理者よりアドバイス等いただいで対応している。現在は行えていないが外部研修の参加や社内研修の機会を作っていた | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 現在は行えていないが、グループ内、ケア連絡会、管理者連絡会等を通じ交流を図る機会を作っている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご家族等からの事前情報をもとに日常生活内での会話の中で情報を集めたり、職員同士で情報交換をしている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居日翌日は当日の様子を報告し安心していただけるよう努めている。入居初期は特に意識してこまめな報告をし相談しやすい関係作りをしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人、家族が望んでいることを聞き取り必要な支援ができるよう対応している | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 共に調理や掃除をしながらやりがいや楽しみを持って生活ができるよう支援している | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族とも情報を共有し支援のアドバイスをいただいている。手紙に写真を同封したりLINEで動画を送ったりとわかりやすく様子をお伝えしている | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 面会は最低限にしているが、職員と昔のアルバムを見ながらお話をさせていただいたり普段の会話の中でご家族やご友人の話題を提供している | コロナ禍により現在は外出が困難となっているが、電話の取り次ぎやホーム便りを発行し、近況を伝える事で、それまでの関係が継続できるよう支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 家事支援を一緒に行ったりお好きなこと・ものを話題にし入居者同士の交流ができるよう努めている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後も年賀状を出ささせていただいたり交流が途切れないよう努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 毎日の会話・行動からご本人のお気持ちを考え、背景や本当の気持ちを引き出せるよう関わるようにしている | 本人からどのように過ごしたいのか、具体的な希望・意向を聞き取る等、家族にも協力を得ながら、情報収集に努め、日々のケア、介護計画作成に活かしている。 | 本人から最終段階に関して、具体的な思いを聞き取り、記録に取り組んでいる。進展に期待したい。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時・面会時に随時確認している他、生活の中で会話や様子を見ながら把握するよう努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 好き嫌い・なにを望んでいるか等毎日の言動をよく見て現状を把握している。必要に応じてカンファレンスを開き状況の変化に細かく対応している | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 入居者それぞれの課題に気づいたらシートを作成し提出、カンファレンスを開き都度検討している。家族やNS、主治医からも意見をいただいている。 | 利用者本位を基本に、家族、協力医療機関の意見、職員による個別の課題・気付きシートとモニタリング結果を合わせて検討して、現状に即した介護計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ケース記録の他、各帳票類も活用し記入している。気づいたことは報告し職員間で情報を共有している | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | コロナ禍でもできることを職員の意見を生かして実践している。その時々で変化するニーズに合わせて安心・納得できる対応を心掛けている | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | コロナの影響で交流できていない。落ち着いたら買い物や外食を楽しんでいただけるよう支援する | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前に条件に合った医療機関を選択していただいている。NSとも連携して適切な医療を受けられるよう支援している | 本人、家族の要望を伺い、かかりつけ医とのつながりを大切にするよう努めている。通院は家族同行が原則だが、職員同行する等、状況に応じて柔軟な受診支援を行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 体調の変化や気になることは看護師に報告し指示を仰いでいる。指示は看護日報にて全職員で情報共有している | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は必要な情報を文書で提出し情報交換をしている | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時や介護計画更新時に将来の意向を伺い、ホームでの看取り対応が可能なこと、主治医と話し合う機会を設けられるよう相談にのっている | 契約時に指針を文書で説明し、同意書を得ている。また状況に応じて、医療機関を含めて話し合い、本人や家族の意向に沿って介護できるように、職員間で情報共有に努め、取り組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルを全職員把握し、緊急時はマニュアルをもとに対応している | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 火災非難訓練だけでなく、災害時の訓練も年1回以上行うようにしている | 定例で火災・自然災害を想定した避難訓練を実施している。地域とは町内想定災害対策や、避難時の相互の役割確認を行っている。定期的に備蓄品の確認を行い、不意の災害に備えている。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 尊厳をもって接し、ささいな言動や仕草にも注意しながら丁寧な対応をしている | 接遇面は研修で学び、不適切なケアは職員同士で注意し合える関係作りに努めている。呼称は苗字にさん付けとし、一人ひとりの人格の尊重を基本にしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日頃の会話の中から思いをくみ取り聞き出せるようにしている。うまく伝えられない方には選択肢を提供する等入居者それぞれに合わせた聞き方を工夫している | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者それぞれの生活スタイル、ADL等を考慮した対応をしている。なるべく希望に沿えるよう職員同士協力し柔軟な対応ができるようにしている | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 毎日の衣類を入浴前に選んでいただいている。行事がある時はお化粧、おしゃれができるよう声掛けしている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 誕生日は本人のお好きなメニューを聞いて取り入れている。行事食も日頃食べられないものや入居者のリクエストを反映している。毎日一緒に調理、片付けに参加していただいている | 季節や馴染みの食材を取り入れ、嗜好を聞き取り、献立を作成している。調理の過程や下膳、テーブル拭き等、体調や体力に合わせ、お手伝いをお願いして、食事が楽しみある時間となるよう努めている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個人の食事状況を把握し、安全に栄養を補えるよう食事形態、量を考え提供している。水分は飲みたい時に飲めるよう入居者それぞれに合わせ提供している | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ご本人のタイミングに合わせお誘いしている。必要に応じて歯科医に相談し対応している | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々の状況を把握し、タイミングを見ながらその方に合った声掛けをしている。オムツ使用者も日中はトイレで排泄できるように誘導している | 個々のタイミングを時間で把握し、声掛けを工夫しながらトイレへの誘導を行っている。排泄時の羞恥心に配慮しながら、出来るだけ自力で行えるよう見守り、支援している。パット類の使用も最小限としている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬をなるべく服用せず水分、食事、運動でスムーズに排便ができるよう取り組んでいる | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 拒否する方には無理強いせず声掛けのタイミングや対応者を変えたり工夫してお誘いしている。入浴中は1対1でゆっくりと会話をしたり歌等で楽しい時間を過ごしている | 曜日や時間帯を制限せず、出来るだけ利用者の希望に応じて、好みの入浴剤を使用する等、快適な入浴となるよう支援している。同性介助の希望にも対応している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 前日の睡眠状況、その日の体調やご本人の希望を考慮し休んでいただいている。夜は眠りやすいよう雰囲気、場所の工夫をしている | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 主治医、看護師の指示をいただき服薬支援ができるようにしている。職員全員が薬情に目をとおし把握できるようにしている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | それぞれの好きなこと、得意なことを生かし今まで続けていた趣味、家事活動に参加していただいている。意欲が沸くよう話題作りをしている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 現在は外出を控えているがなるべく入居者の希望にそって買い物や散歩にでかけている | 外出行事は自粛しているが、気候の良い時期は周辺の散歩をしている。室内でのレクに運動を取り入れ、気分転換や心身の機能維持に努めており、利用者にとって、コロナ禍での制限が最小限となるよう努めている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族とも相談し希望される方にはお金を所持していただいている。買い物時はなるべくご自分で支払いしていただいている | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ホームの電話使用の他テレビ通話等でやり取りしていただいている。携帯電話をお持ちの方は充電や使い方のサポートをしている | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとの飾りつけや居室ドアに名札をつけたり、日常生活の写真をこまめに貼り換える等居心地の良い空間作りを考え実施している。庭仕事がお好きな方にはお世話できるよう植物の鉢を設置し楽しみが持てるようにしている | 陽当たりの良い居間を中心に、和める雰囲気づくりに留意して、寛げる備品の配置や季節感に合わせた飾り付けをしている。また、温・湿度の管理や換気など健康に配慮した場所としている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご自分の席とは別に窓側で本が読めるようソファを設置していたりと、入居者がその時の気分に合わせ自由に動いたり座ったりできるような環境作りをしている | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | なじみの家具や日用品を持ってきていただき家の暮らしを感じていただけるようにしている。ADLが低下した場合は危険予測をし入居者が安全で使いやすいような位置に配置換えをしている | 居室には昔馴染みの家具や小物類が置かれ、安心して過ごせるような工夫が見られる。また写真や絵なども飾られ、自分の居場所として落ち着いた雰囲気となっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレや風呂、ご自分の部屋の表示をして困らず自立できるような環境を作りさりげなく促せるよう工夫をしている。好きな時に好きなところへ行けるよう職員間で連携をとり見守りしている | | |